

授業科目

小児科学

担当教員名 稲月 まどか	対象学年	2	対象学科	言語・視機
	開講時期	前期（隔週実施）	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○			

授業の概要

受精から出産を経て成人するまでを扱うのが小児科学である。

子どもは日々発達成長するが、その過程は生来性に持って生まれたその子供の特性と子供を取り巻く環境に大きく影響を受ける。言語聴覚士・視能訓練士として出会う子どもの背景を理解し、より良い支援を組み立てるための基礎知識を学ぶ。

授業の目的

正常な子どもの発達をもとに、言語聴覚士・視能訓練士として出会うことの多い子どもの背景や子育てにまつわる環境のみたて、子どもの状態を改善するためのスキルを学ぶ。

学習目標

1. 健常な小児の発達・成長を理解し、評価できる。
2. 小児の異常や疾患を簡潔に説明できる。
3. 異常を持つ子ども特有の問題や背景について理解し、解決方法を提示できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	はじめに ことば・からだ・こころ	講義	稲月 まどか
2	小児の発達と成長	講義 2回目以降、確認テストや課題を課す	稲月 まどか
3	胎児・周産期・新生児	講義	稲月 まどか
4	染色体異常・奇形症候群・先天性疾患	講義	稲月 まどか
5	ことばのおくれ・運動発達の遅れ・重症心身障害児	講義	稲月 まどか
6	神経疾患・循環器疾患・てんかん	講義	稲月 まどか
7	発達障害・虐待	講義	稲月 まどか
8	子育て・保育と環境 母子保健	講義	稲月 まどか

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	言語聴覚士のための基礎知識 小児科学・発達障害学 (第2版)	宮尾 益知 編	医学書院	2009年	3,780円+税	
参考書						
その他の資料						

評価方法

課題（レポート）・確認テスト 50%

定期試験成績 50%

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

授業内容の質問・相談がある学生は、所属学科・学年・学籍番号・氏名・用件を記入の上、office-hour@nuhw.ac.jpへご連絡ください。